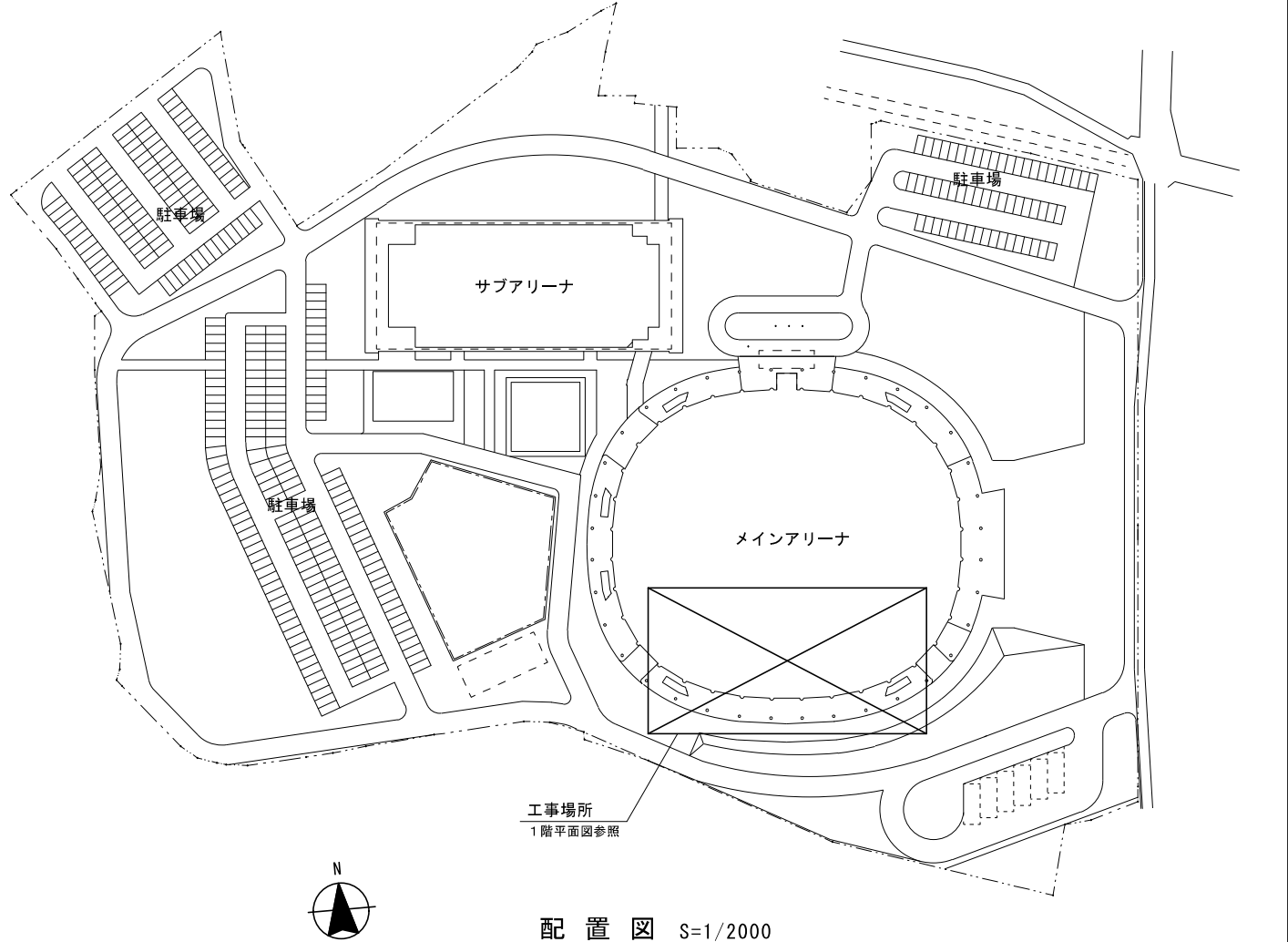


章	項目	特記事項	給水設備	排水設備	給湯設備	消火設備	厨房設備	ガス設備	衛生器具設備	その他			
● 保温及び消音内張り	○ 廻りダクトの保温 範囲は(○ ○) ○ 外気ダクトの保温 範囲は(○ ○) ○ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ○ 冷媒管の外装の種別は(○ ステンレス鋼板 ○ 樹脂製化粧カバー) ○ 全熱交換ユニット用のダクト(保温の厚さ25mm、外気側 OA, SA共) ○ フード・ダクト間の防火ダンパ設置 ○ 火気使用排気ダクト ロックウール保温材50mm ○ 排気ダクト 外壁より ○1m(樹脂製ダクト) ○2m(金属製ダクト) ● 給水管 ポリスチレンフォーム保温筒 ● 給湯管 グラスウール保温筒 埋設部はワンタッチ保温材20mm ○ 排水管 グラスウール保温筒 ビット内保温 ○ 有 ○ 無 ○ 消化管 ポリスチレンフォーム保温筒 ○ 水抜きできない管 ○ スプリンクラー配管 ● 冷温水 グラスウール保温筒 ● 煙道 ロックウール75mm なお、上記配管で、凍結の恐れがある屋外箇所は、凍結防止帯巻の上グラスウール保温筒+鉄線+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板とする。 注1:各配管の保温厚で標準仕様書中厚さ30mm未満の箇所はすべて厚さ30mm以上とする。(ただし、排水管、ドレン管、冷媒管は除く) 注2:上記は保温材の種類を示すもので、それ以外の仕様は標準仕様書による。	● 配管材料 (1) 地中埋設配管 ○ 水道用ポリエチレン二層管(不凍栓まで) ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP(不凍栓まで) ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD(不凍栓以降) (2) その他の一般配管(上水) ● 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB	○ 水栓 ○ 水量器 ○ 水量器棚 ● 弁類 ○ 管の埋設深さ ○ 建物導入部配管 ○ 引込納付金等	○ 配管材料 (1) 屋内排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 VP ○ 排水・通気用耐火二層管 VP ○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP ○ 通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 VP ○ 排水・通気用耐火二層管 VP ○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP (2) 屋外(第一樹まで) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 VU(屋外建物第一樹まで) ○ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 REP-VU ○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 RS-VU	○ 洗面器等の排水管 ○ 満水試験継手	○ 配管材料 (1) 屋内消火栓 一般 ○ 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 地中 ○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS 地中 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP ○ 消火器 ○ 粉末消火器(蓄圧式)3kg ○ 強化液(中性)3L ○ その他 ○ スプリンクラー設備 ○ ○ 建物導入部配管 標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)○(a) ○(b) ○(c)による。	○ システム ○ ○ 厨房用熱源 図示による。 ○ 機器の機能等 図示による。	○ ガス種別 ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 配管材料 ○ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一般 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) (2) 地中	○ 和風大便器耐火カバー ○ 設ける(ビット内は除く) ○ 設けない ○ 小便器自動洗浄装置 小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。 ○ 洋風便器 洗浄水量が6.0L/回以下のものとする。	○ 設備方式 ○ 排水再利用 ○ 厨房除害 ○ 浄化槽 図示による。 ● 撤去内容 ● 発生材の処理 ○ フロン回収 ○ 定員・積載 ○ 速度 ○ その他	○ 排水処理設備 ● 撤去工事 ○ 昇降機設備	○ 排水再利用 ○ 厨房除害 ○ 浄化槽 図示による。 ● 撤去内容は図示による。 ● 特別管理産業廃棄物は(●臭化リチウム ○ ○)とする。 ○ 再資源化を図るものは(○ ○ ○)とする。 ● 構外搬出適法処理をし、マニフェスタ票、E票の写しを提出する。 なお、少量(2t車1台程度)の場合は、自社保管場所にて保管後適正処分も可とする。 ○ 業務用冷凍空調機器の廃棄については、関係法令に基づき行程管理制度によって登録業者にフロン回収運搬をさせ、許可業者に処理を行わせ、委託確認書及び引取証明書の写しを提出する。	人 kg m/min ○ 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能
		○ 吊り及び支持金物(○ 槽内 ○)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。 ○ コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。 ● 配管勾配 給水、給湯、消火、冷温水、冷却水は、図示による水抜きが確実にできるような水抜き位置に向かって下り勾配とする。 ● 試験 (1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2)新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。	○ 洗面器等の排水管 ○ 満水試験継手	○ 機器 ○ ガス給湯器 ○ 電気給湯器 ● 配管材料 ● 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ○ ● 弁類 JIS又はJV(○5K ●10K(図示部分)) ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。	○ 配管材料 (1) 屋内消火栓 一般 ○ 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 地中 ○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS 地中 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP ○ 消火器 ○ 粉末消火器(蓄圧式)3kg ○ 強化液(中性)3L ○ その他 ○ スプリンクラー設備 ○ ○ 建物導入部配管 標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)○(a) ○(b) ○(c)による。	○ システム ○ ○ 厨房用熱源 図示による。 ○ 機器の機能等 図示による。	○ ガス種別 ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 配管材料 ○ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一般 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) (2) 地中	○ 充電容器 別途(○50kg ○ ○)×本 ○ 集合装置 標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による 本組。 ○ 転倒防止等 標準図(液化石油ガス容器転倒防止施工要領)の○(a) ○(b)による。 ○ メーター ○ 供給業者 ○ ガス漏れ警報器 ○ 本工事(図示による) ○ 別途工事() ○ 電気防食 ○ 要 ○ 不要 ○ 引込負担金等 ○ 要(○別途 ○本工事に含む) ○ 不要	○ 和風大便器耐火カバー ○ 設ける(ビット内は除く) ○ 設けない ○ 小便器自動洗浄装置 小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。 ○ 洋風便器 洗浄水量が6.0L/回以下のものとする。	○ 設備方式 ○ 排水再利用 ○ 厨房除害 ○ 浄化槽 図示による。 ● 撤去内容 ● 発生材の処理 ○ フロン回収 ○ 定員・積載 ○ 速度 ○ その他	○ 排水処理設備 ● 撤去工事 ○ 昇降機設備	○ 排水再利用 ○ 厨房除害 ○ 浄化槽 図示による。 ● 撤去内容は図示による。 ● 特別管理産業廃棄物は(●臭化リチウム ○ ○)とする。 ○ 再資源化を図るものは(○ ○ ○)とする。 ● 構外搬出適法処理をし、マニフェスタ票、E票の写しを提出する。 なお、少量(2t車1台程度)の場合は、自社保管場所にて保管後適正処分も可とする。 ○ 業務用冷凍空調機器の廃棄については、関係法令に基づき行程管理制度によって登録業者にフロン回収運搬をさせ、許可業者に処理を行わせ、委託確認書及び引取証明書の写しを提出する。	人 kg m/min ○ 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能

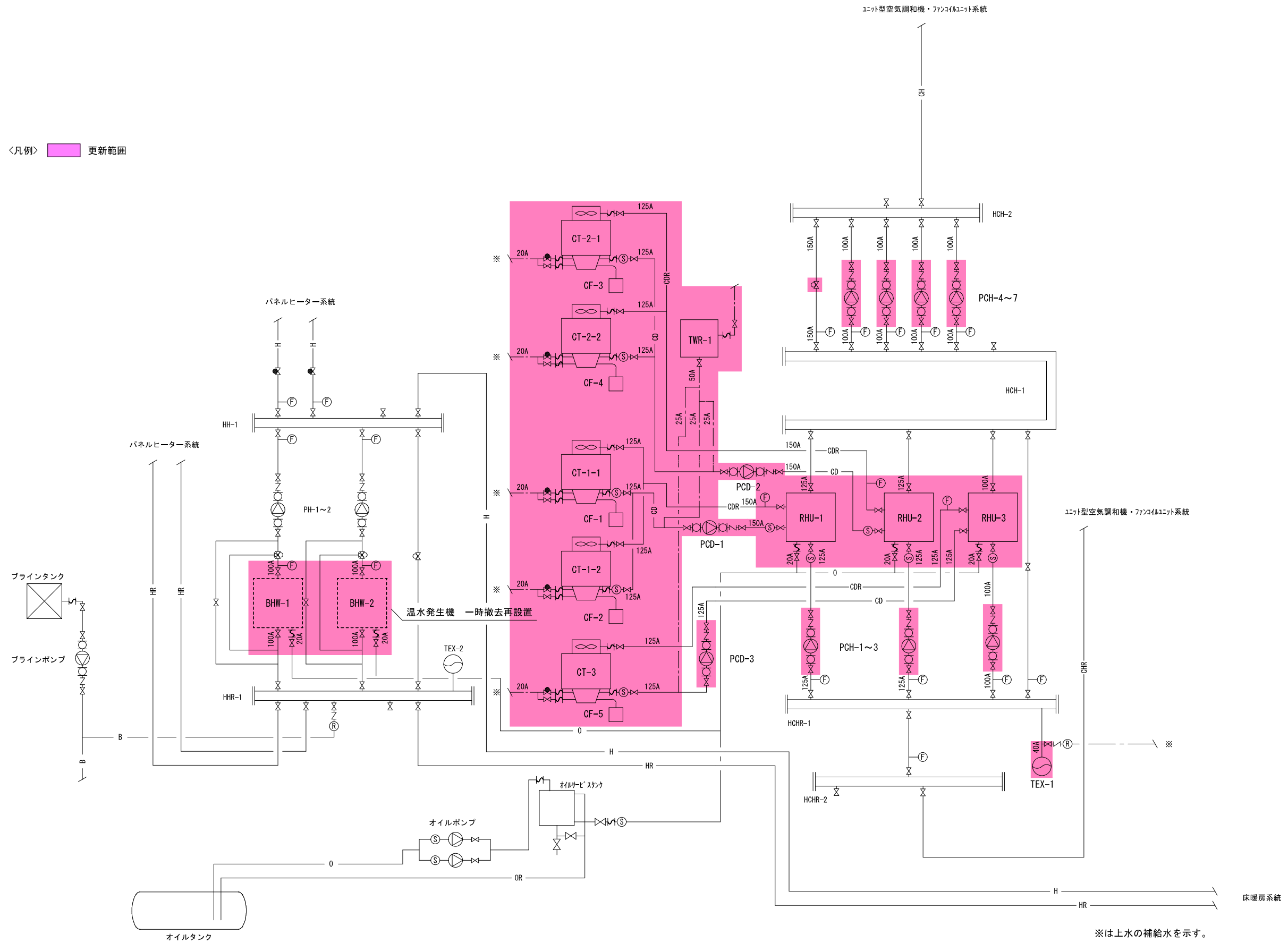


案内図 S=NON

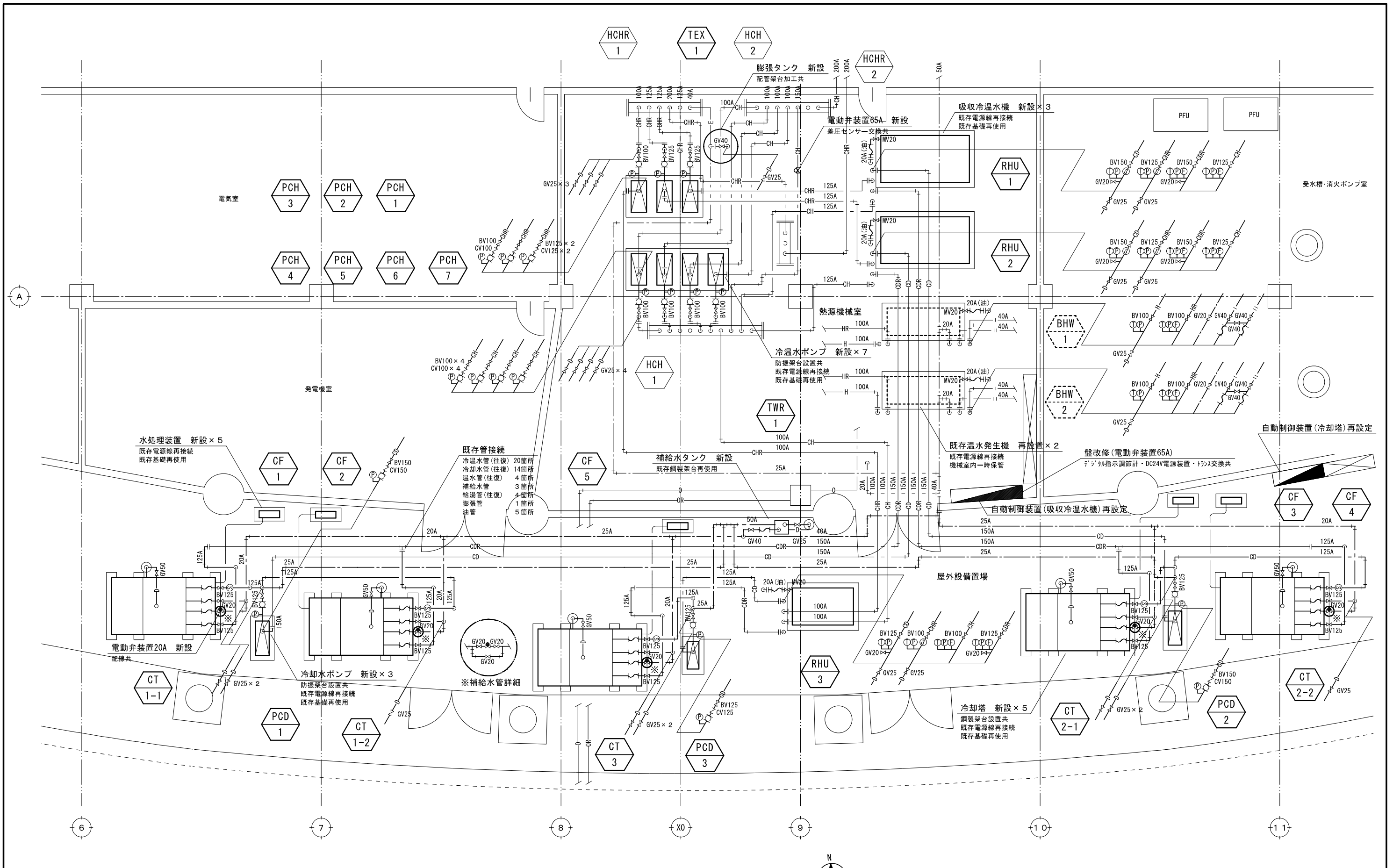


配置図 S=1/2000

<凡例> 更新範囲



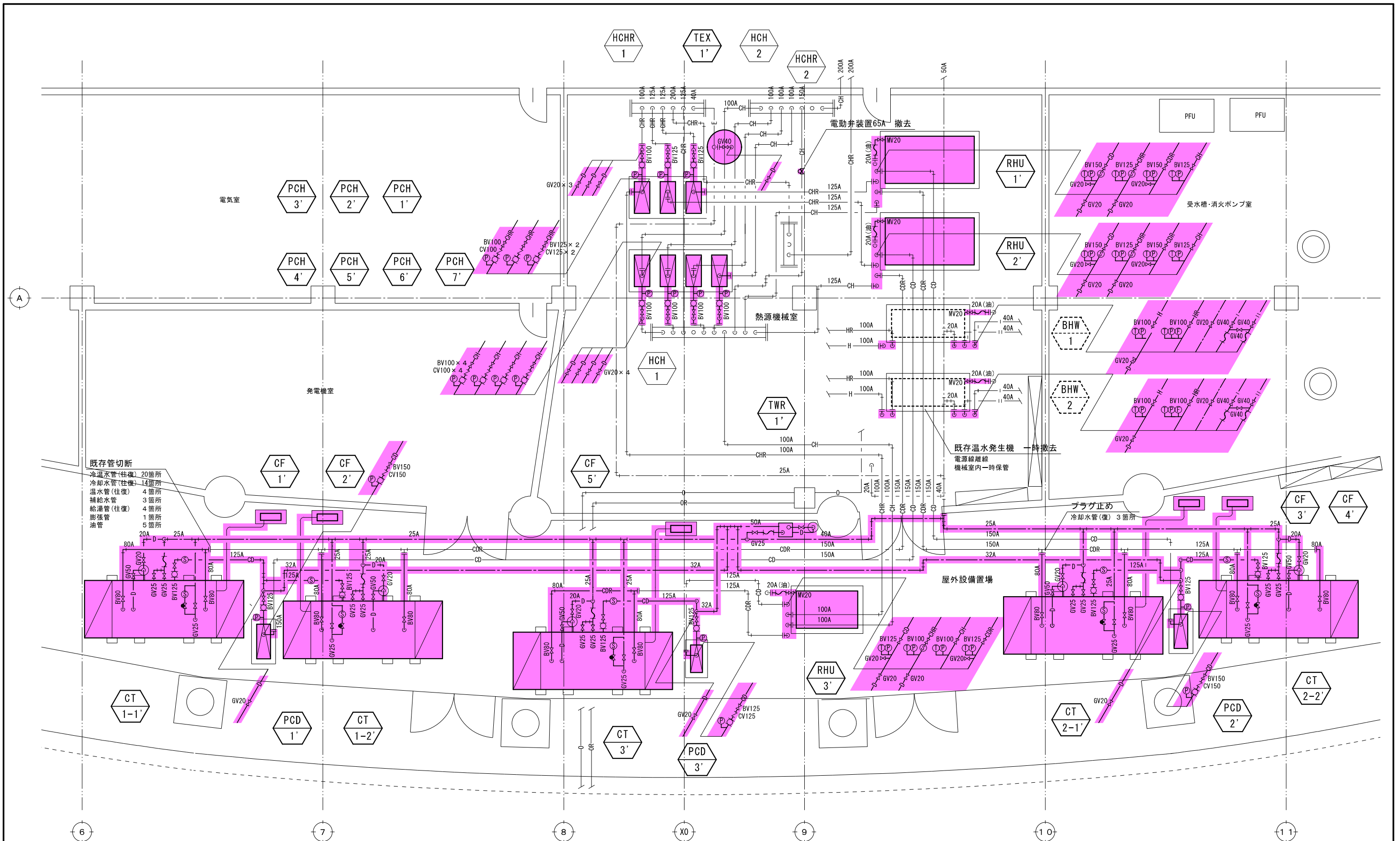
担当	係	係長	課長補佐	主幹	課長	真島総合スポーツアリーナ 吸収冷温水機更新 工事設計図		図面番号
						空気調和設備フロー図	令和2年度	5
						● 長野市建設部建築課		9



改修平面詳細図 S=1/100

担当	係	係長	課長補佐	主幹	課長

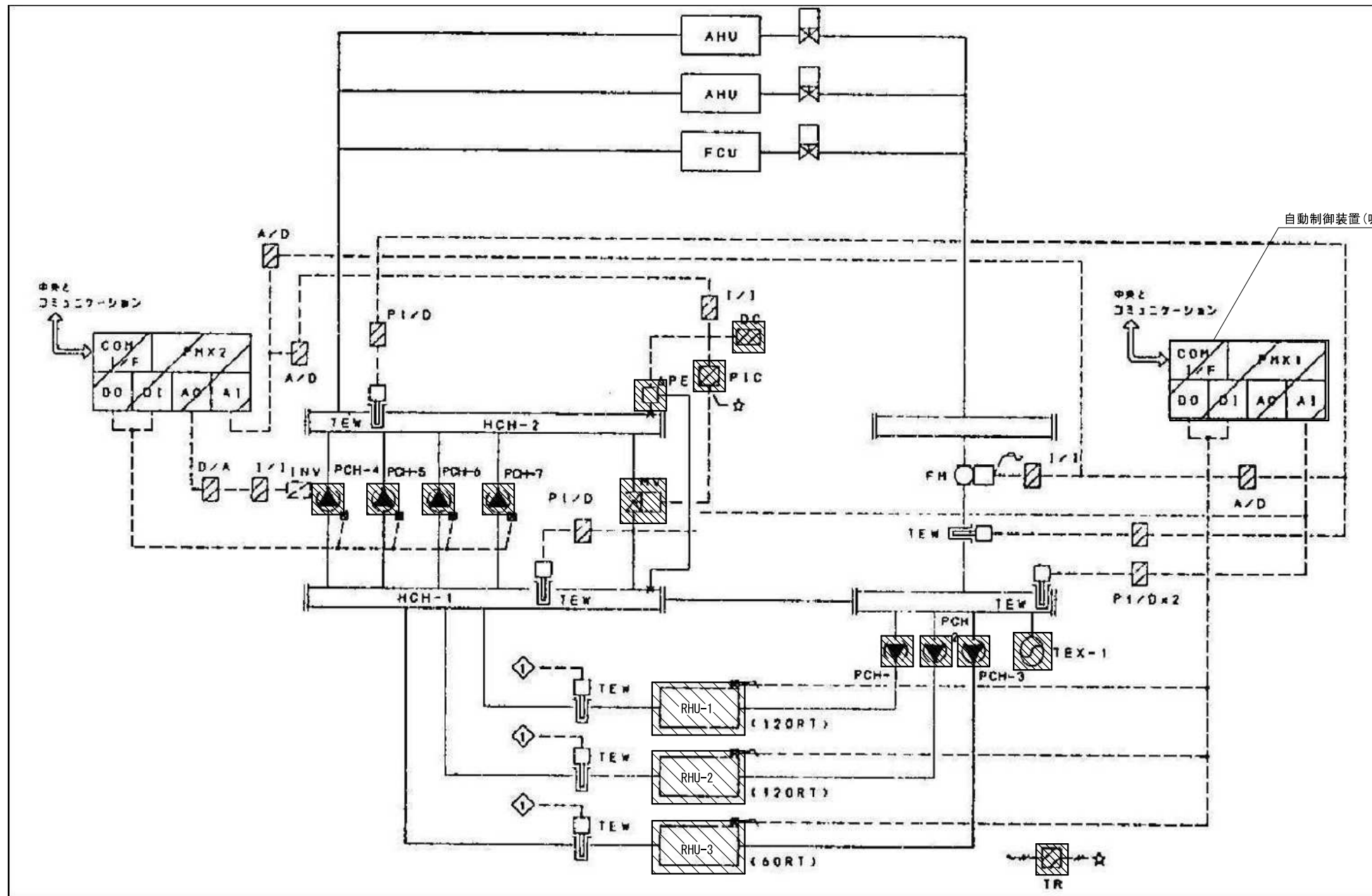
真島総合スポーツアリーナ 吸収冷温水機更新	工事設計図	図面番号
改修平面詳細図	令和2年度	6
● 長野市建設部建築課		9



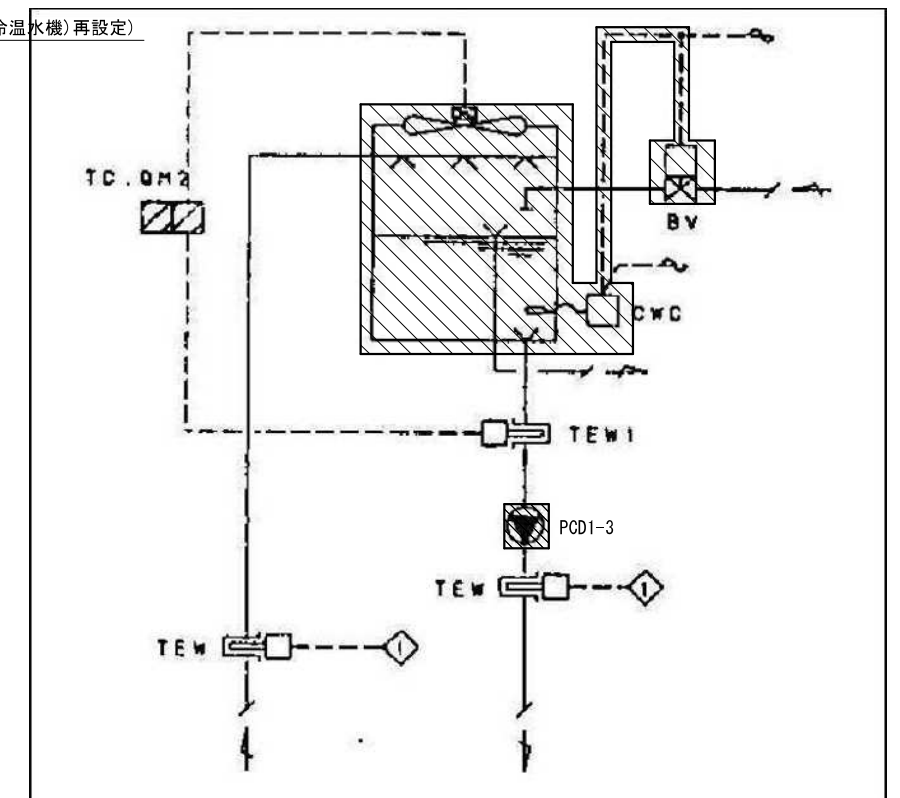
撤去平面詳細図 S=1/100

〈凡例〉 機器及び配管類撤去(既存電源線再利用)

	担当	係	係長	課長補佐	主幹	課長		真島総合スポーツアリーナ 吸収冷温水機更新	工事設計図	図面番号
								撤去平面詳細図	令和2年度	7
								● 長野市建設部建築課		9



【吸収冷温水機系統】

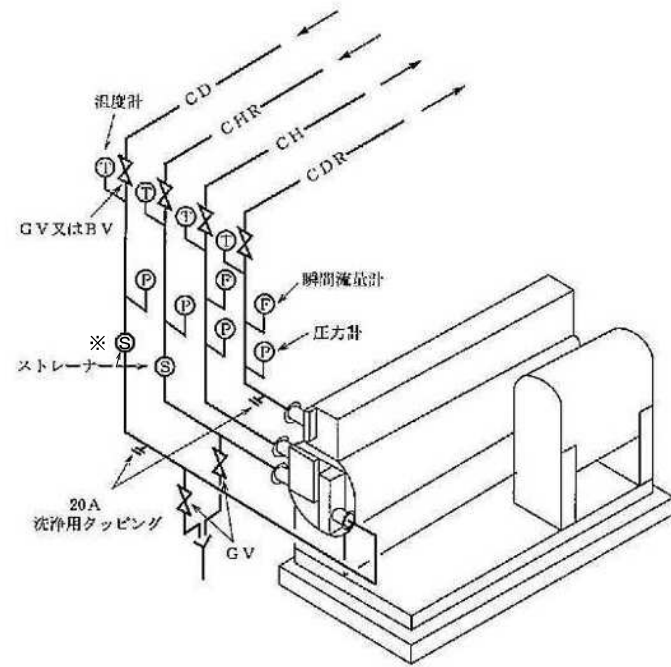


【冷却塔系統】

<凡例> 更新範囲

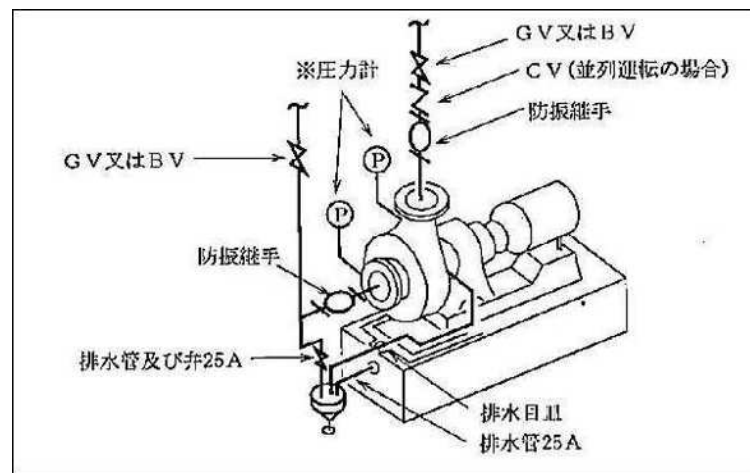
参考図 自動制御設備 S=NON

	担当	係	係長	課長補佐	主幹	課長	真島総合スポーツアリーナ 吸収冷温水機更新	工事設計図	図面番号
							参考図 自動制御設備	令和2年度	8
							● 長野市建設部建築課		9

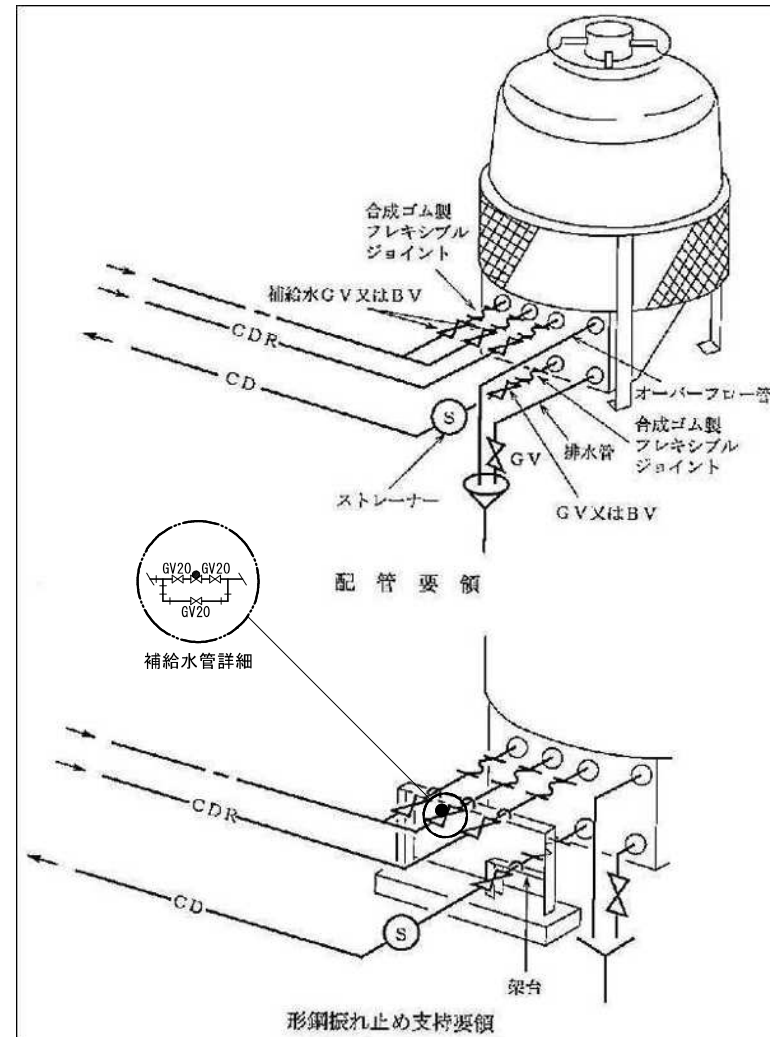


※ RHU-1, 2の冷却水管(往)にはストレーナを設置すること。

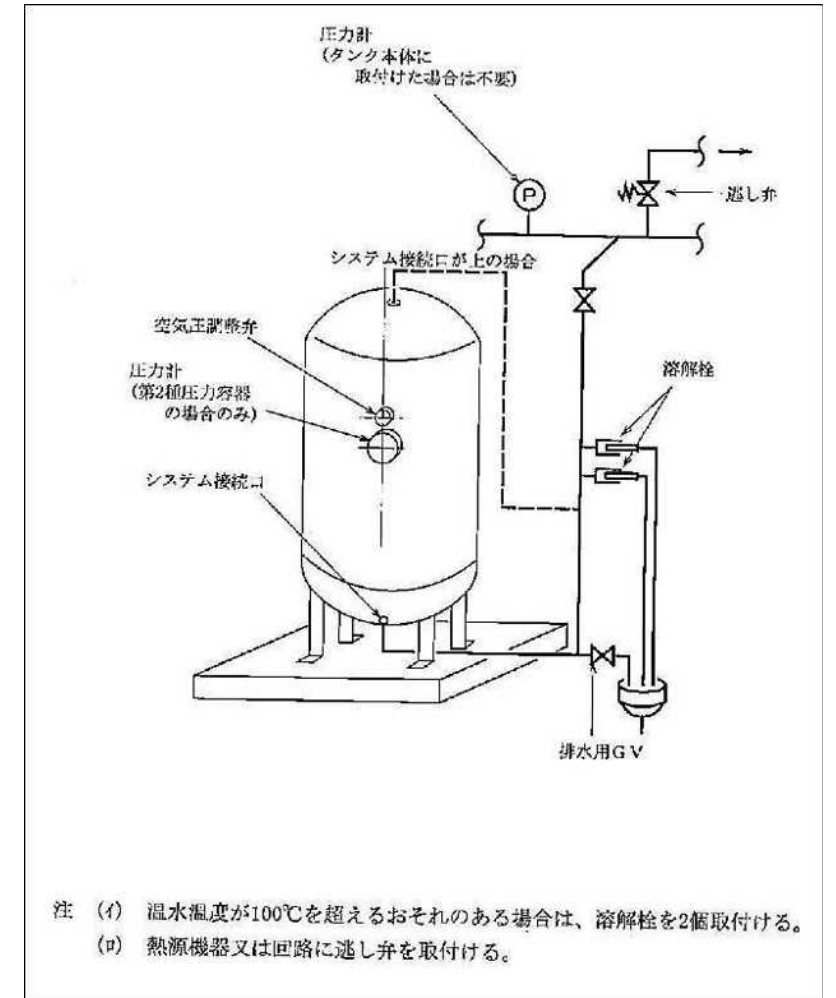
【吸収冷温水機】



【冷温水・冷却水ポンプ】

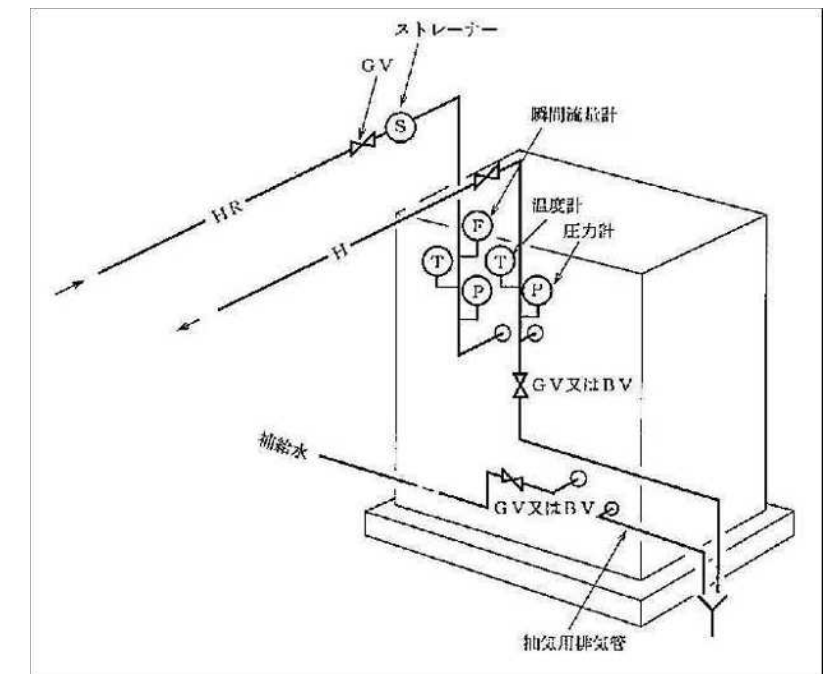


【冷却塔】



注 (イ) 温水温度が100℃を超えるおそれのある場合は、溶解栓を2個取付ける。
 (ロ) 熱源機器又は回路に逃し弁を取付ける。

【密閉形隔膜式膨張タンク】



【真空式温水発生機】

参考図 機器廻り配管要領 S=NON

担当	係	係長	課長補佐	主幹	課長

真島総合スポーツアリーナ 吸収冷温水機更新	工事設計図	図面番号
参考図 機器廻り配管要領	令和2年度	9
● 長野市建設部建築課		9